

記者発表（配付）資料

平成 22 年 3 月 8 日

所属部課	館 長	主席学芸員	統括学芸員	担当	連絡先
歴史まちづくり 萩博物館	高木 正熙	樋口尚樹	清水満幸	堀 成夫	0838-25-6447

件 名	まぼろしの深海魚「竜宮の使い」、萩博物館で「生 ^{なま} 」で限定公開
-----	--

めったに見られない伝説の深海魚「リュウグウノツカイ」が 2 月に青海島に浮上しました。その標本を「生^{なま}」の状態で、3/27・28 限定で萩博物館で特別公開します。

イベント名：「生^{なま}」の深海魚「竜宮の使い」タッチング

と き：平成 22 年 3 月 27 日（土）・28 日（日） 午前 9 時受付開始

9 時から 16 時まで（正午をのぞく）に毎時 1 回、各日 7 回ずつ

ところ：萩博物館

定 員：各回 60 名（当日受付で先着順、小学 3 年以下は保護者同伴）

参加料：展示観覧券または年間パスポートを受付で提示。両日に限り、特別サービスとして、チラシまたは WEB ページのプリントアウト、携帯画面を受付に提示することにより、展示観覧料 2 割引。

内 容：「ミスター竜宮城」（当館の 19 年夏の深海魚展「君と竜宮城へ」のマスコットキャラクター）がリュウグウノツカイの標本を紹介・解説。希望者は記念撮影やタッチングも可。

※ 全国数カ所でホルマリン漬けや剥製が公開されていますが、発見者・関係者以外が「生^{なま}」の状態で見たり触れたりできるのは当館のこのイベントだけです。

■ 公開される標本（写真右）

採集地：長門市 青海島 大日比（おおひび）漁港

採集日：平成 22 年 1 月 29 日

経 緯：大日比漁港に漂着しているのを地元住民が発見し、山口県水産研究センターに搬入。その後、同センターから萩博物館に寄贈。

大きさ：全長 3m93cm

■ リュウグウノツカイとは

太平洋～インド洋の水深 200～1000m の中層にすむ深海魚。長さ 5～10m にもなる「世界最大の硬骨魚」。ふつうの魚にはない独特の神々しい容姿をもち、嵐の後などにまれに海上に姿を現すため、「竜宮城からの使者」になぞらえられたり、日本の人魚伝説のモデルとも考えられています。萩をふくむ北長門海岸では過去 7 回ほど目撃されていますが、全国的には 10 年に 1 度見られるか分からない「まぼろしの珍魚」です。しかし昨年末～現在にかけ、北陸～九州の日本海側に数十件も同時多発的に出現しており、天変地異の予兆ではないかと噂されていますが、その関連性は分かっていません。

